

- 今後は、人口減少の緩和を進めることはもとより、人口構造を始めとする様々な変化に大きな影響を受けず、その変化を積極的に生かし持続可能な成長を遂げる社会をつくっていくことが必要。
- そのためには、誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなっていること、誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できていること、誰もが快適な生活を送れ、新たな価値の創出に挑戦できることが重要→「ユニバーサル（共生）」、「ウェルネス（健康）」、「スマート（快適・先端）」をまちづくりの重要概念に設定し、基本目標等に反映。
- より課題が複雑化する中、行政（札幌市）が行う施策の設定に当たっては、まちづくりの基本目標ごとの施策の充実だけでなく、分野横断的な施策展開も必要。
- 以上を踏まえ、戦略編（第1章）では、分野横断的に取り組む施策を次のとおり掲げる考え。

ユニバーサル（共生）

ウェルネス（健康）

スマート（快適・先端）

■分野横断的に取り組む施策

★ハード・ソフト両面でのバリアフリー推進

- ・旅客施設や車両、道路、学校等のバリアフリー化の促進
- ・建築物のバリアフリー化の促進
- ・年間を通じた公共交通・施設利用の円滑性の確保
- ・バリアフリー情報の充実
- ・心のバリアフリーの推進

【関連する主な基本目標】

- 子ども・若者：基本目標2、基本目標3
- 生活・暮らし：基本目標5
- 地域：基本目標6
- 安全・安心：基本目標8
- スポーツ・文化：基本目標14、基本目標15
- 都市空間：基本目標20

★健康行動の促進とウォーカブルシティの推進

- ・子ども、働く世代、高齢者の各世代を対象とした健康活動促進
- ・日常的なスポーツの推進や冬季の運動機会の確保
- ・都心部、地域交流拠点、住宅市街地におけるウォーカブル空間の創出

【関連する主な基本目標】

- 子ども・若者：基本目標3
- 生活・暮らし：基本目標4
- 安全・安心：基本目標9
- スポーツ・文化：基本目標14
- 環境：基本目標17
- 都市空間：基本目標18、基本目標19、基本目標20

★人生100年時代の学びと社会参加の実現

- ・学びの場の創出
- ・学び合い・つながりの機会づくり
- ・社会参加の場づくり

【関連する主な基本目標】

- 子ども・若者：基本目標3 ○生活・暮らし：基本目標4
- 地域：基本目標7 ○経済：基本目標12
- スポーツ・文化：基本目標15

★市民の希望出生率の実現

- ・地域での子育て支援機能の強化などの既存の取組の強化に加え、個々が心や体の健康を正しく理解し、自分らしいライフデザインが描ける環境づくりなど

○子ども・若者：基本目標1、基本目標2

【関連する主な基本目標】

○生活・暮らし：基本目標4

★スマートシティの推進

（デジタル改革による市民生活の質の向上）

- ・行政のデジタル改革
 - ・地域のデジタル改革
- 『関連する主な基本目標』
- 生活・暮らし：基本目標5
 - 経済：基本目標11
 - 安全・安心：基本目標9
 - 都市空間：基本目標19

★人材育成・産業競争力の強化

- ・更なる成長が期待される地域産業を担う高度人材育成・創出
- ・成長分野を中心とした国内外から企業・人・モノ・投資・情報の獲得

【関連する主な基本目標】

- 子ども・若者：基本目標2、基本目標3 ○経済：基本目標10、基本目標11

★ゼロカーボンの推進

- ・徹底した省エネルギーの推進
- ・再生可能エネルギーの更なる導入・拡大・移動の脱炭素
- ・ゼロカーボンにつながる新たな技術開発や産業の振興

【関連する主な基本目標】

- 環境：基本目標16、基本目標17 ○都市空間：基本目標18

★雪の利活用

- ・スノーリゾートシティの形成

【関連する主な基本目標】

- 経済：基本目標10 ○スポーツ・文化：基本目標13、基本目標15

★若年層の道外転出超過の抑制

- ・企業の創出・誘致、振興などの既存の取組の強化に加え、大学等との連携による「若者の地元定着」や「大学・企業・地域コミュニティの活性化」など

【関連する主な基本目標】

○経済：基本目標11、基本目標12

■まちづくりの基本目標ごとの施策